

額装とアートプリントを一手に取り扱い、 全国のアーティストから信頼を得ています



セントラル画材株式会社
代表取締役社長

中田 雅文
なかた まさぶみ

Profile

昭和48年12月生まれ、49歳。
大学を卒業後、都内で画材販売の仕事を経験してから、セントラル画材株式会社に入社。平成26年、父の跡を継いで代表取締役社長に就任した。現在は、月に一度のペースでFMラジオに出演中。趣味はゴルフなど。



セントラル画材株式会社の本社ビル。画材道具を販売する西館と額縁を取り扱う東館があり、東館のフレームセンターにはオーダーフレーム用のサンプルが2000種類以上もそろっています



Q1

どのような事業を行っている会社なのでしょうか。

弊社は画材道具の販売からスタートした会社です。その後は仕事の幅をどんどんと広げていき、現在のおもな事業は、額縁やオーダーフレームの販売と額装、アートプリント、サイン・ディスプレイの制作、不動産業など。額装とアートプリントの両方を行っている会社は全国的にも珍しく、数多くのアーティストやクリエイターからご依頼をいただいています。

額装は、いわば人間にとっての服のようなもの。オーダーメイドのフレームでしたら、一つひとつの作品に合わせて大きさやバランスなどを調整することができますので、既製品のフレームよりも作品の魅力を一層際立たせることが可能です。

令和4年の秋からは、オンライン上でデジタル印刷と額装の仕上がりをシュミレーションできるウェブサイト「インプレス・ラボ」をスタートしました。これからは弊社ならではのアイデアとサービスで、さまざまなアーティストやクリエイターの想いをカタチにしていきたいと考えています。

Q2

社員に対するサポート体制や仕事上のやりがいなどを教えてください。

法令遵守はもちろん、働く環境をしっかりと整備していくことで、ホワイト企業の上をいくピュアホワイト企業を目指しているところです。そのため、定期的にクラウドシステムを利用した社内アンケートを実施。人間関係や衛生面、心身の健康などについて、みんなから寄せられる声を分析し、必要な場合は迅速にフォローすることのできる体制を整えています。また、社内外に新しくハラスメント相談室も設置しました。今後はさらに、さまざまなハラスメントを防止していくための研修にも力を入れていきたいと思っています。

一方で、一人ひとりのスタッフを信頼していくことも大切にしています。とくに「こういうことをやってみたい!」という想いなどは、会社としても積極的に応援。自由な発想で楽

しく働いてもらうことを通して、仕事にやりがいや面白みを見い出してってもらいたいと考えています。

また、私たちはたくさんの方のアーティストやクリエイターと密に関わっていきますので、時には作品に対する想いや考え方など、貴重なお話をうかがえる機会も。そういった点も、弊社で働くことの大きな魅力につながっていると感じています。

Q3

将来の事業ビジョンについてどのようにお考えでしょうか。

近年のアート業界では、「NFTアート」というデジタルアートの分野に注目が集まっています。このNFTとは、ブロックチェーン上で構築された代替不可能なトークンのこと。これまでのデジタルアートは、簡単に複製や改ざんができてしまうという問題がありましたが、この技術が構築されたことで、アーティストやクリエイターの皆さんがデジタルの世界でもビジネスを成立することができる時代になりました。

弊社でも、この「NFTアート」に対応した印刷技術を持っているのですが、まだまだあまり知られていないのが現状。今後の事業ビジョンとしては、まず周知を徹底し、「NFTアート」のオファーを増やしていくことが課題の一つだろうと考えています。

また、先ほどはスタッフとの関係性における理想をお話ししましたが、多くの協力会社とも、上下関係のないフラットなつながりをつくっていくのが目標。そうしてお得意様はもちろん、スタッフや協力会社の方たちも含め、関わるみんなが幸せになれる「三方よし」の会社を実現していきたいです。

TOP INTERVIEW 【優良企業ガイド 2024】TSR企業コード:400633442

セントラル画材株式会社

所在地 / 〒461-0001 愛知県名古屋市中区泉1丁目13-25
セントラル・アートビル
TEL:052-951-8998 FAX:052-951-8997
URL / <https://www.central-gazai.co.jp/>

設立 / 昭和56年3月 創業 / 昭和55年4月
従業員数 / 36名(男性20名、女性16名)、平均年齢41.1歳
売上高 / 5億9,000万円

企業ガイドは
P000へ